

四月五日、大船渡市民会館（リアスホール）において、連合岩手主催による「震災復興&クラシノコアゲ地域フォーラムin岩手三陸」が開催され、気仙地域協議会の組合員を中心に県内各地から一七〇名が参加した。

フォーラムは、連合岩手と気仙・釜石遠野・宮古地協で実行委員会を結成し、復興と暮らしの底上げを一体となして進め、幅広い意見や要望・実現への「壁」の存在を共有し、新たな運動展開の出発点にする試みであり、基調講演やパネルディスカッションを通して復興への道筋を検証した。

齋藤連合岩手会長は、「復興への課題解決に向けた取り組みが、先進事例として岩手を未来に導くとともに、連合が掲げる暮らしの底上げになることを期待する」と、連合本部の山根木総合局長は「地域の中小企業をよくするヒントとなることを期待する」などのあいさつを受け、戸田大船渡市長からは、復興計画の進捗状況に触れながら歓迎のあいさつがあった。

### ともに手を携えて進める新たな運動展開の出発点

## 地域フォーラムin岩手三陸



【基調講演】  
岩手大学人文社会科学部 杭田俊之准教授による基調講演「復興の壁を超えるために産業と雇用の再生取り組み事例から」と題して講演した。

杭田准教授は、釜石市の水産加工現場の調査を基に、顕著になっている人手不足への対応のあり方に言及。「将来の人口減少は避けられず、雇い方・働き方の再考、人材育成の業界連携や地域社会とのつながり構築などが必要になってくる」と述べた。

クラシノコアゲに向けて、三つの壁①現状把握の壁②ひとづくりの壁③つながりの壁を示し、壁に関連し、壁①地域資源の状況、掘り起こしの可能性は地域のクラシノに含まれている、壁②「ものごとを動かす、転がす」中でひとづくりが進む、壁③地域「クラシノ」という発想で事業組織の連携の場づくりが課題となっており、くらし目線の運動論を訴えた。

【パネルディスカッション】  
県復興局推進課の熊谷総括課長、(株)マイヤの米谷代表取締役社長、宮古市社会福

**連合 労働相談 ホットライン**  
0120-154-052

雇用の不安 雇い止めの不安はありませんか？

## 第88回 気仙地区 メーデー集会

2017年 5月1日  
会場：盛川河川敷南側緑地公園

私たちは、労働者の国際連帯の日を捉えて、戦争や紛争、テロなど世界平和を脅かす要因ともなる、貧困や飢餓、環境破壊や人権侵害の撲滅に立ち向かい、すべての人々へのディーセント・ワークの実現を訴えます。

本メーデーは、盛町内をデモ行進してから集会やイベントを実施します。多くの皆さんの参加を待っています。

**長時間労働の撲滅 ディーセント・ワークの実現**

# MAY DAY

今こそ 底上げ、底支え、格差是正の実現を!

気仙地区メーデー実行委員会

社協議会の有原氏、岩手日報社報道部金野記者、山根木連合本部総合局長がパネリストとして登壇した。

仕事の形を変えて、地方創生・まち・ひと・仕事の地域プラットフォームを創る。働き方改革には働く文化・当事者意識をもって働き方の多様性が必要。など、それぞれの立場から復興への取り組みや課題を出し合い、出席者とも意見を交わしながら発展への道筋を探った。

**共謀罪** クラシノコアゲ 応援団

### 組織犯罪処罰法等一部改正案

逢見連合事務局長談話 中略はHPで

安倍内閣は、三月二日、テロリズム集団その他の組織的犯罪集団による実行準備行為を伴う重大犯罪遂行の計画の罪」を創設する組織犯罪処罰法一部改正案を閣議決定した。

政府は、本法案について、過去三回廃案となった同法改正案に盛り込まれた「共謀罪」をテロ対策の必要性を強調した罪名に変更しながら、衆議院予算委員会などにおいて従来の共謀罪とはまったく別のものであるかのような説明を繰り返してきた。こうした政府の対応は、本法案への国民の疑念に真摯にこたえておらず、遺憾である。

本法案は、①テロ等準備罪の新設、②証人等買収罪の新設、③犯罪収益の前提犯罪の拡大や贈賄罪及び関係罰則の国外犯処罰規定の整備などを主な内容としている。中略

連合は、過去廃案となった組織犯罪処罰法改正案に盛り込まれた「共謀罪」の創設について、中略、TOC条約の趣旨と現行国内法との関係を整理することが国会審議の前提であるとしてきた。テロ対策の重要性が高まる中、国民生活の安全・安心の確保に向けた法整備は必要であり、また、TOC条約が目的とする越境組織犯罪の防止は積極的に推進すべきものであるが、本法案は前記の整理が不十分のまま提出されている。一般の企業や労働組合、団体などが処罰の対象となりうる懸念や、拡大解釈の恐れ、行きすぎた捜査手法による人権侵害が起これる可能性など、多くの不安が払拭されていない。

連合は、中略、労働組合や市民団体などの正当な活動が不当に監視や処罰の対象となることがないよう、民進党と密に連携し、全力で取り組む。

期待が寄せられています。

施設内には、コミュニティカフェ「すみかフェ」とレストラン「kerasse(ケラッセ)」があります。「すみかフェ」は気軽に立ち寄り、セルフサービス(有料)によりコーヒーや住田のお土産(お菓子)などが飲食できるスペース(交流の場)で、FreeWi-Fiも完備しており待ち合わせ場所等に最適です。

「kerasse(ケラッセ)」は住田町産の食材を生かした地産地消のレストランで、東京から一ターンの来たシエフが自慢の腕を振るっています。GWには一周年を記念してディナーbuffetを行う予定となっていますので、是非この機会に住田町を訪れてみてください。

通常営業日は、団体利用でも予約等が可能となりますので、皆様のお越しをお待ちしています。

追伸：エヒスビールなどの飲み放題もあります。淳・S

明治30年時代後半の伝統的な町家と土蔵群が当時の姿のまま残されていた「旧菅野家住宅」を保存改修し、地域の歴史のかつ伝統的な魅力を生かした住民交流の拠点として住田町が整備した「まちや世田米駅」がまもなく一周年を迎えます。

この施設を核として、近隣に、交流の場、公共施設、人口の拡大の期待が寄せられています。

らど Id 05